

『発達障害のある人を 地域で支える』

子どもと家族のメンタルクリニック やまねこ



田中 哲

1

○ はじめに

“ It takes a whole village to raise a child”
ひとりの子どもを育てるには村が丸ごと必要である。
(アフリカの諺)

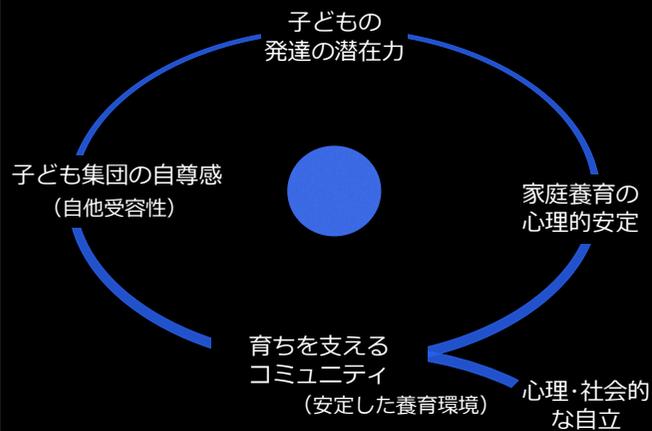


2

○ 心の“育ち”と “育てるもの”の関係

3

【子どもの心の育ちを支える循環】

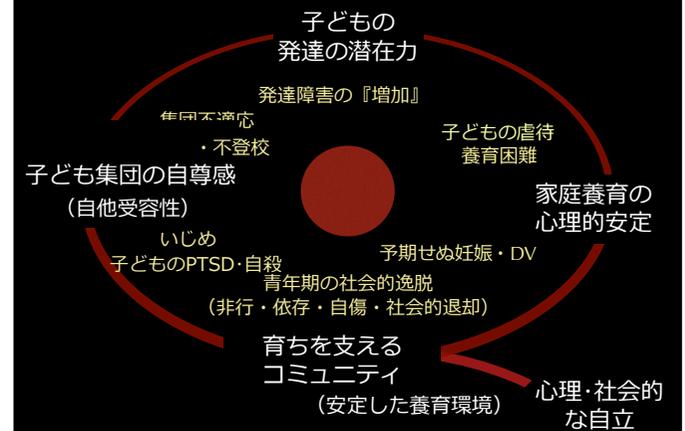


4

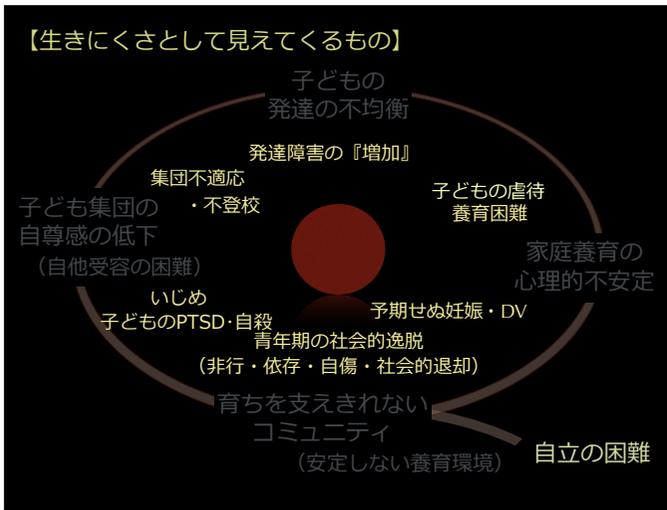


5

【歪な育ちを支える見えない状態のもの】



6



7

○ 発達を支える コミュニティの役割

8

- ☞ ヒトの子どもはとても未熟なまま生まれる
自力では無力な赤ちゃんが唯一あてにできるもの
安定した関わりから生まれる子どもの存在肯定
安全基地が可能にする人への関心と関係の広がり
- ☞ 子どもはコミュニティに生まれる

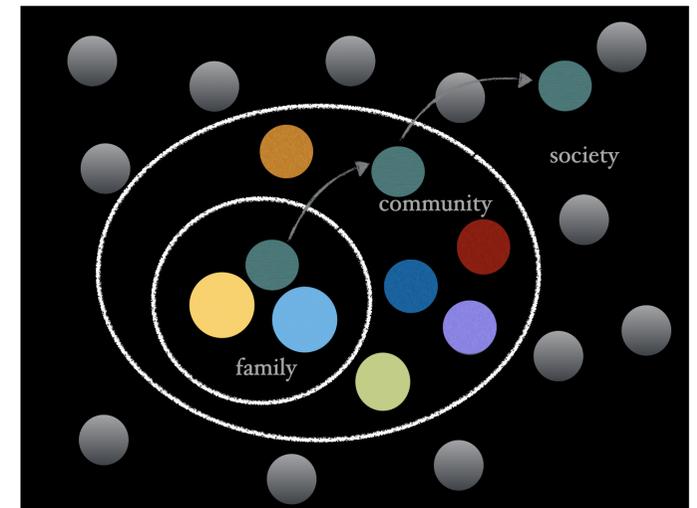
9

- ☞ ヒトの子どもはとても未熟なまま生まれる
 - ☞ 子どもはコミュニティに生まれる
子どもは生まれた瞬間から人の中で暮らしはじめる
ひとりの子どもを育てるには村が丸ごと必要である。
(アフリカの諺)
心は人の間でしか成長できない
 - ☞ 社会化する足場としての
コミュニティ
- 

10

- ☞ ヒトの子どもはとても未熟なまま生まれる
 - ☞ 子どもはコミュニティに生まれる
 - ☞ 社会化する足場としてのコミュニティ
コミュニティに居場所を見つけることで子どもたちには
自立のルートが拓けてくる。
- 

11



12

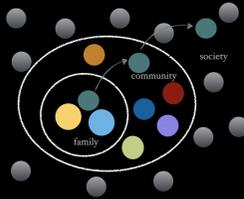
🌿 ヒトの子どもはとて未熟なまま生まれる

🌿 子どもはコミュニティに生まれる

🌿 社会化する足場としてのコミュニティ

コミュニティに居場所を見つけることで子どもたちには自立のルートが拓けてくる。

コミュニティに居場所を見つけられないと自立の道のりは急に見えづらくなる…。



13

○コミュニティの役割という視点から『発達』と『発達障害』を捉え直す

🌿 『発達』とは何だろう

発達

からだの発達

知恵の発達

こころの発達

人との関わりの発達

社会的な発達

14

15

○『発達』と『発達障害』を捉え直す

🌿 『発達』とは何だろう

🌿 社会的な発達とは何か

子どもの権利としての『発達』

締約国は、児童の身体的、精神的、道徳的及び**社会的な発達** (physical, mental, spiritual, moral and **social development**) のための相当な生活水準についてのすべての児童の権利を認める。

【児童の権利に関する条約 第27条1】

16

○『発達』と『発達障害』を捉え直す

🌿 『発達』とは何だろう

🌿 社会的な発達とは何か

滝川先生の発達論

『そだち（発達）とは、養育者との間で様々な体験が分かち合われていくことを通して、子どもが人間の持つ**共同世界（社会）を共に生きられるようになる**歩みである。』

【滝川一廣・子どものそだちとその臨床】

17

○『発達』と『発達障害』を捉え直す

🌿 『発達』とは何だろう

🌿 社会的な発達とは何か

🌿 『発達障害』とはどういうことか

本来の定義でいうと『発達障害』とは…

『…自閉症、アスペルガー症候群 その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの…』 【発達障害者支援法】

18

○ 『発達』と『発達障害』を捉え直す

🌱 『発達障害』とはどういうことか

本来の定義でいうと『発達障害』とは…

『発達障害』はどのように使われているか
(または発達障害という社会現象)

発達バランスや感受性・大切なことの多様性

その子が発達するタイミングの多様性

発達する環境の多様性

その人の在り方 (being) の多様性 (厚み)

19

○ 『発達』と『発達障害』を捉え直す

🌱 『発達障害』とはどういうことか

本来の定義でいうと『発達障害』とは…

『発達障害』はどのように使われているか
(または発達障害という社会現象)

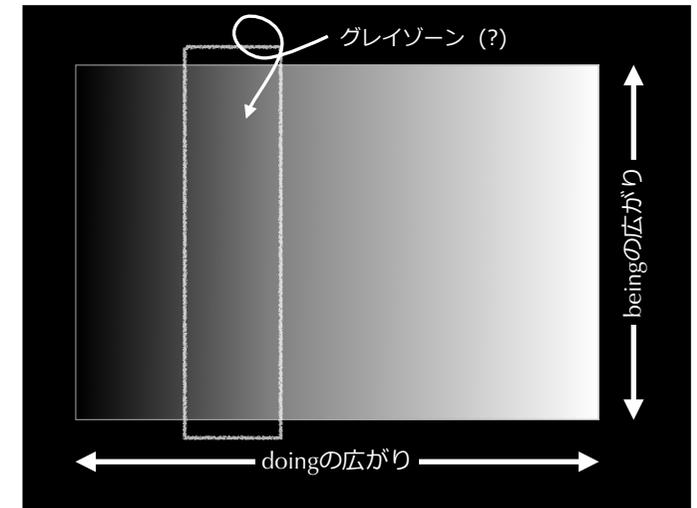
🌱 『発達障害』の考え方と支援

時代や文化で『普通』は変わる

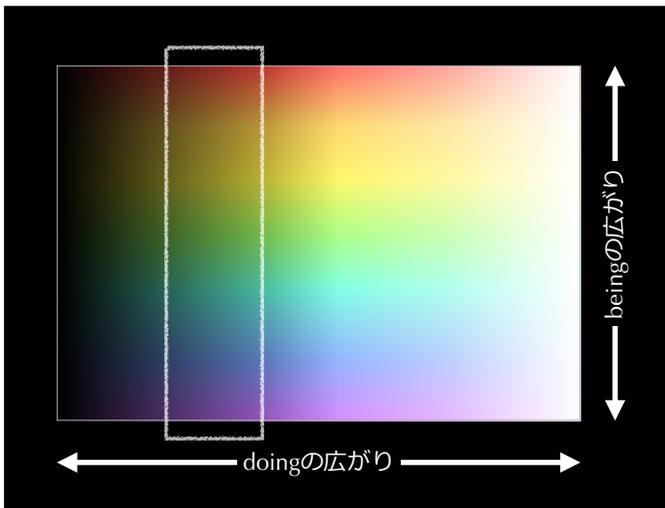
在り方(being)の多様性

発達のマイノリティ

20



21



22

○ 子どもの育ちのための コミュニティの役割

○ 子どもの育ちのためのコミュニティの役割

🌱 コミュニティが発達に関わるとは

人間は共同で子育てをする生き物である

心の発達コミュニティの中で育まれる

たいせつなものを共有する手段としてのコミュニケーション

🌱 コミュニティの中での『らしさ』

子どもの自尊心 (自己肯定感) はよいコミュニティの中で
しか育たない

コミュニティが共有する『ふつう』の中で見えてくる『らしさ』

それ自身が多様な『らしさ』の集積としてのコミュニティ

23

24

○ 子どもの育ちのためのコミュニティの役割

- ☞ コミュニティが発達に関わるとは
- ☞ コミュニティの中での『らしさ』
- ☞ コミュニティが子どもの育ちの助けになるためには
子どもの育ちが大切なものとして共有されている
子どもの育ちのための居場所が提供されている
子どもの『らしさ』の多様さがコミュニティの個性でもある
コミュニティの中に様々な人たちによる育ちへの助けがある

25

○ 子どもたちのwell-being とは何か…

beingの視点

26

beingの視点

- ☞ いるということ、
(他の誰でもない) その人であるということ
- ☞ その人「らしさ」としての在り方、感じ方、
考え方
- ☞ その時々「気分」「やる気」「ノリ」など
- ☞ 常にdoing (行動・能動性) の背景にあって見えないもの

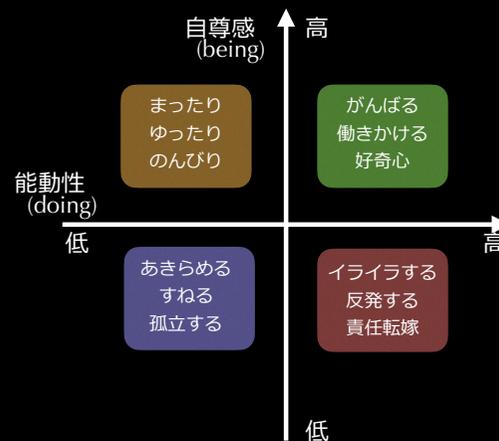
27

beingの視点

- ☞ 誤ったdoingはありうるが、誤ったbeingはあり得ない。
- ☞ 良い状態 (自分に意味がある感覚・自尊心) を維持するためには、常に他者との関わりを必要とする。
- ☞ 新生児期のbeingの良さは母子間で継承されるが、成長するに伴い、継承はコミュニティとの間でも行われる。

28

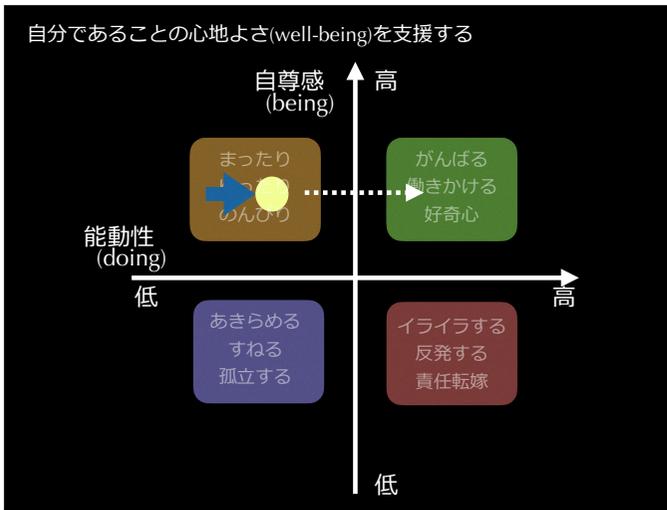
自分であることの心地よさ(well-being)を支援する



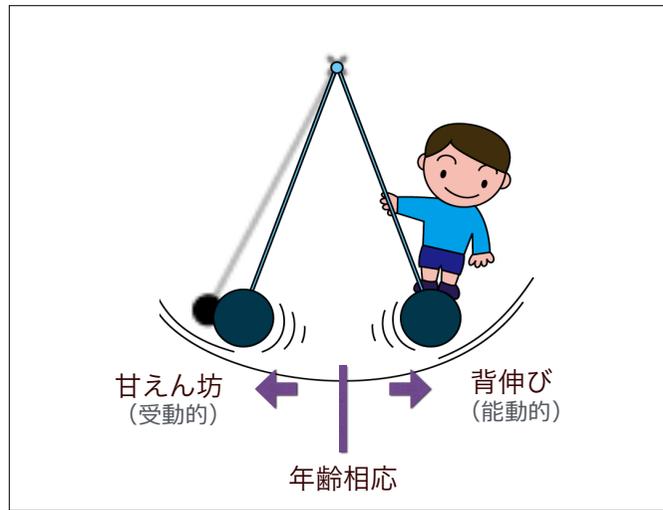
29



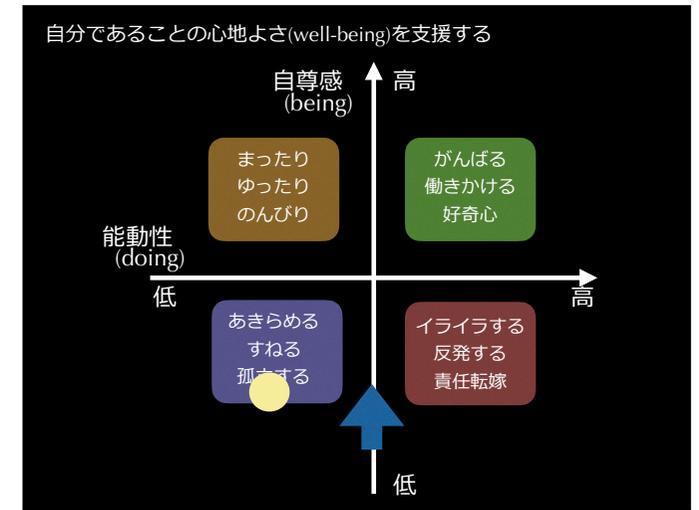
30



31



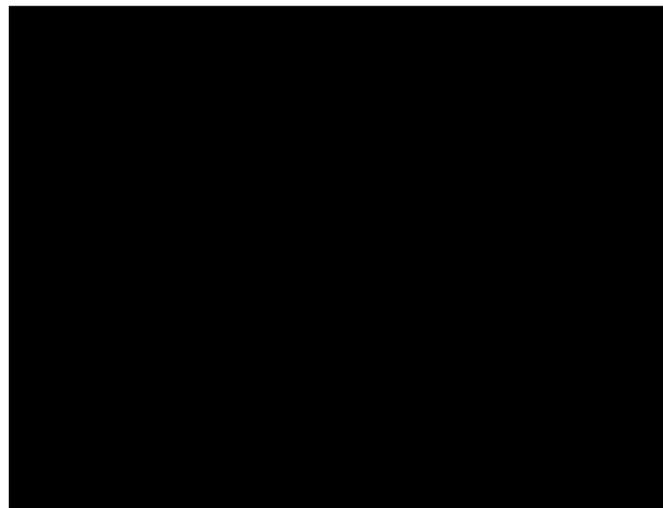
32



33



34



35